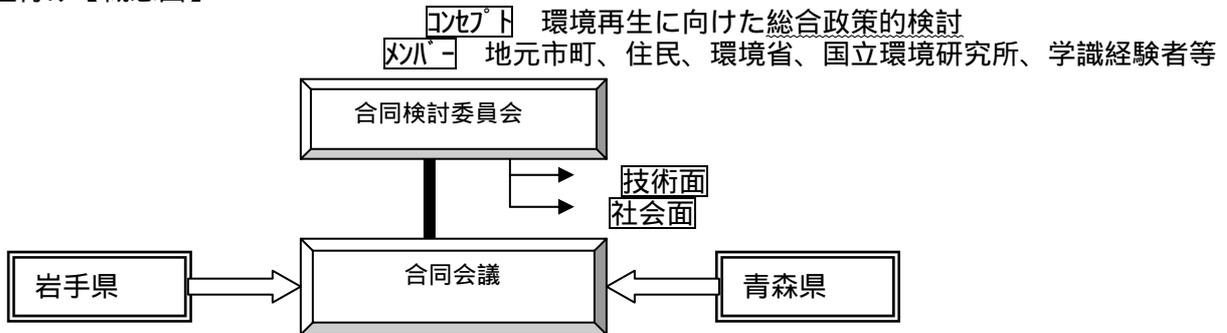


青森・岩手県境不法投棄事案に係る合同検討委員会について

1 目的

不法投棄現場は青森・岩手両県に跨っているものであるが、両県の対策は一体的に行うべきであるとの認識に立ち、技術的側面のみならず社会経済的側面等をも含めた総合政策における両県の連携をより包括的に行い、現地の環境再生を図ることを目的とする。

2 位置付け【概念図】



3 合同会議での検討テーマ

最終テーマ 県境不法投棄現場の環境再生計画
緊急度に応じて、個々のテーマについて、順次検討していく。

4 合同検討委員会での検討テーマ

合同会議が検討するテーマに関する調査・検討 合同会議に対して報告・提言等を行う。

5 検討事項の内容について

(1) 技術面テーマ

環境再生に向けた技術的課題について
技術的手法について
調査について
環境再生スケジュールについて

(2) 社会面テーマ

環境再生に向けた社会的課題について
事業実施主体について
原因究明と責任の関係について
費用の財源補填方法について
住民参画について
環境再生施策について

学識経験委員案（50音順）9名【調整中】

委員は全て両県が一体的に依頼するものであること。

板井一好 岩手医科大学医学部講師（衛生学公衆衛生学講座）

笹尾俊明 岩手大学人文社会学部講師（環境科学講座）

佐々木俊介 ㈱三菱総合研究所研究理事

斎藤徳美 岩手大学工学部教授（建設環境工学科建設基礎工学講座）

田村彰平 弁護士

中澤廣 岩手大学工学部教授（建設環境工学科地域環境工学講座）

長谷川信夫 東北学院大学工学部教授（環境土木工学科）

古市徹 北海道大学大学院教授（工学研究科）

南博方 岩手県立大学総合政策学部教授（総合政策学科）